

緑のスポットを巡りながら 変わり続ける京浜臨海部を見に行こう

3月8日(火)晴れ。トンボみちファンクラブの8人は、末広地区と生麦新子安地区の緑のまちづくり協議会が主催するバスツアーに参加しました。両地区において、平成24年度から地域の緑のまちづくり事業で整備された緑地を中心に見学するバスツアーです。



弁天橋駅前に整備された公開緑地



説明に聞き入るツアー参加者

午前中は、末広地区の見学、資源循環局鶴見工場をお借りして昼食をとり、午後は生麦新子安地区と、車窓からの見学や紹介だけの緑地も含めると、ツアーの場所は、両地区合計で24カ所と超盛りだくさん。

ものづくり中心だった京浜工業地帯は、市立大学や理化学研究所などが立地したサイエンスフロンティア地区や、物流センターが多数進出している地区などが混在する**多機能な京浜臨海部**に変わっています。そのいっぽうで、京浜の森づくりや地域緑のまちづくりにより、新しい緑地やビオトープがつくられ、**トンボのヤゴやカエルの産卵など、自然の生きものの暮らしが身近にみられる地域**になりつつあることが実感できた見学ツアーでした。



貨物線の森緑道でつけたヒキガエルの卵



6種類のビールが少しずつ楽しめるお試しセット

ツアーの後は、ほかの参加者を含めた有志が、キリン横浜ビアビレッジのリニューアルされたスプリングバレーで美味しいビールを堪能しました。(銀)

来年度の活動について

3月26日(土)の月例活動日に、来年度の活動予定について、皆様のご意見、ご感想を伺います。また、同時に活動予定以外についても、自由に話し合いを行ないたいと思いますので、よろしくお願ひします。(事務局)

【連載4】続・トンボ百科 ～ 民芸品に見る日本人の観察力 ～

④日本人は昔からトンボのバランスを知っていた？

40年前、長野県白馬村の駅前で買ったのが写真(左)の民芸品だ。昔からあったらしいが、いまだにその呼び名はよくわからない。でも最近、ネットでほぼ同じ構造のバランストンボというのを見つけた。やじろべいのようなのだが、左右だけでなく前後のバランスもとる。支点が頭より前のため、翅先の重さがポイントだ。実物のトンボも、休息時はこれと似た姿勢をとっている。ネットから打ち出して作り、トンボのバランスを実感してみてもどうか？

(文責:田口正男農学博士)



バランストンボ形の民芸品



バランスどまりの
オオシオカラトンボ

(シリーズ) トンボみちの仲間たち

2月27日(土)のファンクラブ活動の様子です。(撮影:柴田さん)

ファンクラブのみなさん



アサザの刈り取り



菜の花畑



今回のラジオ体操はEnglish



末広産カレイ
(50cm級)



トンボみち産
ほうれん草の山盛り



ほうれん草と
サヤエンドウのパスタ

活動予定

※雨天は1週間延期

今月: 3月26日(土) 9時~11時

来月: 4月23日(土) 9時~11時

事前の申込みは不要です。誰でも参加可能!

公式ホームページをご覧ください

トンボみちファンクラブ

検索

JFEトンボみち ファンクラブ通信 2016年3月号

発行日: 2016年3月23日

発行者: トンボみちファンクラブ通信事務局

事務局: 〒230-8611 横浜市鶴見区末広町2-1

JFEエンジニアリング(株)業務支援センター

Tel045-505-7447, Fax045-505-6546

ファンクラブ通信への自由投稿をお待ちしています。



東京の森ロゴマーク